

【巡回指導〈4〉】いわき市立 勿来第二中学校

日程：2019年 8月4日(日)

参加者：勿来第二中学校(10名) / 西先生、角田先生

指導者：岡野弘子(元岡山シーガルズ)

同行者：事務局/釜口実行委員長、村田一実、小色尚子



勿来二中のラスト指導は岡野弘子コーチです。釜口委員長より「今日が最後の指導となりますが、岡野さんからの指導をたくさん吸収して、元気に楽しく、素敵な一日にしましょう！」と激励の言葉がありました。みんなで円陣を組んで元気にスタートです。



3人で1つのチームとなり、相手コートに3回で返すのを10回連続目指しました。なかなか連続することができず、何度もチームで何が必要なのかを話しあい、取り組みました。「ボールをさばくことに集中しすぎていませんか？つなげるためには、次にボールを触る人のことを考えてパスをすること、相手の動きを見て考えること。つなぐために相手を想ってパスすることを意識して欲しい」と岡野コーチからアドバイスがありました。集中して、あきらめずに明るく頑張る姿がとても印象的でした。一番の課題であるサーブレシーブの練習や、フォーメーションの確認、セッターやブロックの指導など、ひとつずつ意識し、考えてプレーすることの大切さを伝えました。顧問の西先生と、これからの課題や練習方法など、にこやかに会話しながらお話しさせていただきました。



1年生だけのメンバーでスタートした勿来二中。この1年間の成長は目を見張るものがありました。「アタックが入るようになった」「声かけがちゃんとできるようになった」など一人一人、1年間の変化を話してくれました。岡野コーチから「できなかったことができるようになったと感じることはとても大切です。みんなは自分たちのことをきちんと言葉にして伝え、表現できる力があります。これは素晴らしい武器です。みなさんの人の話を真剣に聞く姿勢や、明るく前向きな姿に指導した誰もが心を打たれ、また会いたい、また指導したいと言っていました。私もその一人です。その素晴らしさを大切にして、ますます素敵なチームになって下さい」とメッセージがありました。真直ぐで、食欲に学ぼうとするその瞳は誰しもの心を掴み、底抜けな明るさに多くの人が魅了されました。これからもキラキラと輝く瞳で頑張ってください！また会える日を楽しみにしています！1年間ありがとうございました！